

平成28年度

# 新潟リハビリテーション大学

大学院 リハビリテーション研究科  
リハビリテーション医療学専攻(修士課程)

# 学生募集要項

学校法人 北都健勝学園



Niigata University of Rehabilitation

新潟リハビリテーション大学

お知らせ：平成28年度より、サテライトキャンパス（社会人向け高次脳機能障害コースのみ）を設置する予定があります。（サテライトキャンパスを利用して学修されたい方は、入試日程、試験内容、試験会場等が異なります。サテライトキャンパス用の学生募集要項をご覧ください。）

## ☆入試日程

### 出願資格審査書類提出期間

I 期	平成27年	10月21日(水)	～	平成27年	11月 4日(水)
II 期	平成28年	1月13日(水)	～	平成28年	1月27日(水)
III 期	平成28年	2月24日(水)	～	平成28年	3月 9日(水)

### 出願期間

I 期	平成27年	11月 6日(金)	～	平成27年	11月20日(金)
II 期	平成28年	1月29日(金)	～	平成28年	2月12日(金)
III 期	平成28年	3月14日(月)	～	平成28年	3月24日(木)

### 入学試験日

I 期	平成27年	11月28日(土)
II 期	平成28年	2月20日(土)
III 期	平成28年	4月 1日(金)

### 合格発表

I 期	平成27年	12月 4日(金)
II 期	平成28年	2月26日(金)
III 期	平成28年	4月 1日(金)

### 入学手続 締切

I 期	平成27年	12月11日(金)
II 期	平成28年	3月17日(木)
III 期	平成28年	4月 4日(月)

### 1 年次授業料納入 締切

平成28年	3月23日(水)
平成28年	3月23日(水)
平成28年	4月 4日(月)

## ☆試験会場

新潟リハビリテーション大学 大学院棟（E棟）

新潟県村上市上の山2番16号

## ☆入試事務(試験に関する問い合わせ先)

新潟リハビリテーション大学 大学院 学務委員会

〒958-0053 新潟県村上市上の山2番16号

TEL：(0254)56-8292 FAX：(0254)56-8291

E-mail：nyuushi@nur.ac.jp（お急ぎの場合はお電話でお問い合わせください。）

大学ホームページ <http://nur.ac.jp/>

## 目 次

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー） .....	2
○募集する研究科の名称等 .....	2
養成する人材像 .....	3
I 一般選抜（平成28年4月村上本校キャンパス入学） .....	4～10
II 研究生、科目等履修生、特別聴講学生選抜（村上本校キャンパス生） .....	10～11
III 大学院専任教員および客員教員 .....	12～13
IV 科目履修について .....	14
・教育課程の編成方針（カリキュラム・ポリシー） .....	14
V 修了要件と学位授与 .....	14
・学位授与に関する方針（ディプロマ・ポリシー） .....	14
VI 授業科目（平成28年度開講予定科目） .....	15

### 本大学院所定の用紙

1. 入学願書
2. 電信扱振込依頼書・受験票
3. 電信扱振込依頼書の記入例
4. 履歴書
5. 推薦書
6. 受験承諾書
7. 出願資格審査申請書
8. 教育・研究歴、実務経験等調書
9. 大学院研究生願
10. 研究計画書（研究生用）
11. 大学院科目等履修生願
12. 大学院特別聴講願

附：大学院所定の封筒（出願資格審査書類送付用、出願書類送付用、合格通知用）

# 入学者受入方針(アドミッション・ポリシー)

## 教育理念・目標

摂食・嚥下障害や高次脳機能障害のほか、運動機能全般に関するリハビリテーション医療の分野で、より優れた医療人や教育・研究者を育成したいという考えに基づき、次の理念・目標を掲げる。

(理念)

- 当該分野における最先端の知識と技術を有した人材を輩出し、教育研究成果を通して幅広い領域で社会に貢献する。
- 医療・福祉の現場で日夜その職に徹している医療補助職の資質および地位の向上に貢献する。

(目標)

- リハビリテーションを機軸とするさまざまな角度から、中・高年齢者の医療を基盤とした福祉医療に関する教育研究活動を展開し、その成果を社会に公開し還元する。
- 深い洞察力と科学的データから弱者（患者）の疾患を客観的に把握し、それに対する治療技術を十分に駆使することができ、さらに弱者（患者）の心の痛みを理解しつつ、抱えている問題を軽減できる知識と技術を培い、臨床現場や福祉施設でリーダーとなって活躍できる医療従事者、また大学や専門学校あるいは関係企業等でその力を発揮できる教育・研究者としての人材を養成する。

## 求める学生像

- リハビリテーション医療に関する基本的な知識を持ち、さらに高度な専門的知識や技術の修得に関心があり、積極的・創造的に研究に取り組む意欲がある人。
- 弱者（患者）の痛みや苦しみを理解することができ、リハビリテーション医療に対して高い目的意識を持ち、臨床現場で活躍したい人。
- 地域医療・福祉への貢献・向上につとめたいと思っている人。

## 入学者選抜方針

リハビリテーション医学領域に対する高い目的意識と理解度を持ち、研究に対する意欲を有する人を選抜します。

### ○募集する研究科の名称等

研究科名称	リハビリテーション研究科	[Graduate School of Rehabilitation]
専攻名称	リハビリテーション医療学専攻	[Rehabilitation Medicine]
設置コース	摂食・嚥下障害コース	[Department of Eating Disorder and Dysphagia]
	高次脳機能障害コース	[Department of Brain Function Disorder]
	運動機能科学コース	[Department of Motor Function Science]
学位名称	修士（リハビリテーション医療学）	[Master of Rehabilitation Medicine]
学位の特色	リハビリテーションを基盤とする摂食・嚥下障害、高次脳機能障害、運動機能科学の分野で確固たる専門性を履修した者に与える学位	

# 養成する人材像

## 一心身に困難を抱えた方々、およびそれを取り巻く家族や社会の状態を把握し、 適切な配慮や援助ができる人材を育てる

近年、医療は目覚しく進歩し、かつては命を永らえることができなかつた人達も生命を全うできるようになってきた。その反面、これまでは考えられなかつたようなさまざまな障害が判明してきたことも事実である。また、本人の意思とは別の次元で生命だけを維持させられているという報道も時に耳にする。生命倫理を再検討すべき時期に来ていると考えられる。

本大学院では、心身に困難を抱えながら、精一杯生きようとする方々や家族を理解し、支えていく人材を育成する。

リハビリテーションという用語は「復権」を意味する。通常は後天的な障害をさすことが多いが、幼児や先天性の障害に対しても人としての復権を考え、努めていくことはリハビリテーションに携わるものとして当然であろう。

本大学院は、生命維持に不可欠な摂食・嚥下機能とその障害やリハビリテーションについて学ぶコース、および人が人として生きていくための高度な脳機能とその障害やリハビリテーションについて学ぶコース、人にとって必須な生体機能、運動・動作・活動、生活機能及びその障害やリハビリテーションについて学ぶコースの3コースがある。

この3つのコースにおいて、高い専門性を持ちながら広い視野に立ち、偏見のない人材を育てることを目指している。具体的に各コース別に養成する人材像を以下に掲げる。

### 摂食・嚥下障害コース

主として摂食・嚥下障害（食べたり飲み込むことがうまくいかない）患者に対して、

1. 病院・老人保健施設・障害児福祉施設・特別養護老人ホーム・重症心身障害児施設・在宅等の臨床現場において、迅速な評価やQOL向上のために最善のアプローチを行うことができ、リーダー的役割を担う医療従事者。
2. 教育現場あるいは食品・医療関係企業等で、新しい評価方法や訓練方法を研究したり、家庭や介護施設等で利用可能な嚥下食等の開発ができる創造力豊かな教育・研究者。

### 高次脳機能障害コース

主として高次脳機能障害（認知症や失語症）の患者に対して、

1. 病院・老人保健施設・障害児福祉施設・特別養護老人ホーム・重症心身障害児施設・在宅等の臨床現場において、適切な評価やリハビリテーションを行い、さらに心理的サポートも充分考慮できる、より高度な医療従事者。
2. 機能改善のためのアプローチ方法や、AAC（代替コミュニケーション）など良好な人間関係の修復などに関する開発および教育等に携わる教育・研究者。

### 運動機能科学コース

主として運動機能障害を持つ患者に対して、

1. 医療施設・老人保健施設・福祉施設・在宅等の臨床現場において、適切な評価やリハビリテーション医療を行い、さらに心理的サポートも十分考慮できる、より高度な医療従事者。
2. 教育現場や研究施設等で健康増進や機能改善のためのアプローチ法を開発する、能力障害を補てんする方法、活動やQOLを改善する方法等を開発する、あるいはその基礎となる研究を行える教育・研究者。

# I 一般選抜(平成28年4月村上本校キャンパス入学)

○新潟リハビリテーション大学 大学院 リハビリテーション研究科 リハビリテーション医療学専攻(修士課程) 村上本校キャンパスに、平成28年4月に入学する学生を、次のとおり募集します。

## 1. 募集人員

研究科	専攻	設置コース	標準修業年限	入学定員
リハビリテーション研究科	リハビリテーション医療学専攻	摂食・嚥下障害コース 高次脳機能障害コース 運動機能科学コース	2年 (長期履修制度あり)	12名(男女) (サテライト キャンパス含む)

入学時の希望に基づき進学コースが決定されますが、1年次6月末まではコース変更が可能です。  
コース別の履修は1年次10月より開始されます。

## 2. 出願資格

・理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、その他の医療・保健・福祉・リハビリテーション等関連領域に関する国家資格を有する者、または国家資格受験資格を有する者のうち、次のいずれかの条件を満たす者

- ① 学校教育法第83条に定める大学(以下「大学」という。)を卒業した者または平成28年3月末までに卒業見込みの者
- ② 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者または平成28年3月末までに授与見込みの者(大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与された者または授与見込みの者)
- ③ 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者または平成28年3月末までに修了見込みの者
- ④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を日本において履修することにより、当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者または平成28年3月末までに修了見込みの者
- ⑤ 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者または平成28年3月末までに修了見込みの者(高度専門士の称号を授与された者または授与見込みの者)
- ⑥ 文部科学大臣の指定した者(昭和28年文部省告示第5号)
- ⑦ 上記①～⑥に該当しない者のうち、平成28年4月1日現在満22歳以上の者で、本大学院による個別の出願資格審査により大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

\*出願時点でいずれかの国家資格を有していない者が本学へ入学を許可された場合には、本学修了時までに国家資格を取得することが望ましい。

## 3. 出願資格審査(出願資格⑦該当者のみ)

出願資格の⑦に該当する者については、次により出願資格の確認を受けてから出願してください。

出願資格の①～⑥に該当する者については、出願資格審査を受ける必要がありません。次項の出願期間に出願してください。

### (1) 出願資格審査書類提出期間

I期	平成27年	10月21日(水)	～	平成27年	11月 4日(水)	午後5時必着
II期	平成28年	1月13日(水)	～	平成28年	1月27日(水)	午後5時必着
III期	平成28年	2月24日(水)	～	平成28年	3月 9日(水)	午後5時必着

### (2) 出願資格審査時の提出書類

出願資格審査申請者は、本要項に添付の封筒に下記書類等を入れ、簡易書留で郵送するか直接持参してください。

(持参する場合の受付時間は、平日の午前9時から午後5時までとし、土曜日、日曜日、祝日は除きます。)

1	出願資格審査申請書	本要項に添付の大学院所定用紙を使用してください。
2	教育・研究歴、実務経験等調書	大学等卒業(修了)後に、教育機関、研究機関、医療機関等における業績・研究・実務経験等がある場合は、本要項に添付の所定用紙により、詳細に記入してください。
3	申請者の研究論文等(有する場合)	研究論文等を有する場合は、その一覧(様式任意)および代表的な1論文の写しを1部添付してください。
4	返信用封筒	角形2号封筒(定形外)に申請者の住所、氏名、郵便番号を明記し、郵便切手140円分を貼ってください。

### (3) 出願資格審査書類等提出先

〒958-0053 新潟県村上市上の山2番16号 新潟リハビリテーション大学 大学院 学務委員会

#### (4) 審査方法

提出された申請書類により行います。

<出願資格認定基準>

専修学校や各種学校等における学修歴や大学の科目等履修生としての単位取得など個人の学修歴、または社会における実務経験等に基づき総合的に審査します。審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められ、本学での履修が可能と判断された場合に、出願資格が認定され出願可能となります。

なお、実務経験等に関しては、以下の①～③で示すような臨床経験、教育・研究歴等のいずれかの条件に合致することが、認定基準の例として挙げられます。

①臨床経験	病院、老人保健施設、訪問リハビリ、デイサービスセンター等において、リハビリテーション医療の専門分野で、国家資格保有者（理学療法士、作業療法士、言語聴覚士 等）として、おおむね2年以上の実務経験を有する者。
②教育歴	専修学校や大学またはこれに準ずる高等教育機関において、教員としておおむね1年以上、リハビリテーション医療の専門分野における教育に従事したことがある者。
③研究歴	大学または大学共同利用機関等これに準ずる研究機関において、研究生・研究員等としておおむね1年以上、リハビリテーション医療の専門分野における研究に従事したことがある者。

#### (5) 審査結果の通知

出願資格審査の結果は、各期の出願に間に合うように、本人宛郵送により通知します。

出願資格有り：出願手続を行うことができます。

出願資格無し：出願手続を行うことができません。出願資格審査時の提出書類を志願者宛に返却します。

## 4. 出願手続

### (1) 出願期間

I期	平成27年	11月 6日(金)	～	平成27年	11月20日(金)	午後5時必着
II期	平成28年	1月29日(金)	～	平成28年	2月12日(金)	午後5時必着
III期	平成28年	3月14日(月)	～	平成28年	3月24日(木)	午後5時必着

### (2) 出願書類等

入学志願者は、本要項に添付の封筒に下記書類等を入れ、簡易書留で郵送するか直接持参してください。

(持参の場合は、平日の午前9時から午後5時までとし、土曜日、日曜日、祝日は除きます。)

書類1～6は、入学志願者全員が提出してください。		
1	入学願書	本大学院所定用紙（所定箇所に写真を貼ってください。）
2	受験票	本大学院所定はがき（所定箇所に写真及び切手（332円分）を貼ってください。） （受験票大学控に入学検定料振込の収納印が押されていることを確認してください。）
3	履歴書	本大学院所定用紙（所定箇所に写真を貼ってください。）
4	成績証明書等	最終出身学校の成績証明書（厳封したもの）但し発行が不可能な場合は単位修得証明書
5	卒業(見込)証明書	最終出身学校発行のものとしします。
6	可否通知用封筒	本大学院所定封筒に出願者宛先を明記し、切手372円分を貼ってください。
書類7～10は、該当する者のみ提出してください。		
7	国家資格免許の写し	リハビリテーション医療の専門分野における国家資格免許（理学療法士、作業療法士、言語聴覚士 等）を有する者は、その写しを提出してください。
8	推薦書	本大学院所定用紙（提出は任意です。出身大学等の指導教員又は病院等勤務先の長が記入したものとします。）
9	受験承諾書	本大学院所定用紙（出願時に他の大学院に在籍している者および在職中の者は、所属長の職印で承諾されたものを提出してください。）
10	外国人登録済証明書	日本国籍を有しない者は、市町村長交付のものを提出してください。

### (3) 注意事項

- ① 出願書類に不備がある場合には、受理しません。
- ② 出願書類等提出後は、記載事項の変更は認めません。
- ③ 出願資格審査で出願資格が無いと判定された場合を除き、既納の検定料及び提出された出願書類等は返還しません。ただし、検定料振込み後、出願期間内に書類等を提出しなかった場合は、当該検定料を返還しますので、本学大学院学務委員会に申し出てください。
- ④ 出願書類9の承諾書の印は、個人印・社印等ではなく、社長・病院長・学長等の、職を表す印に限ります。
- ⑤ 外国の大学及び機関等の証明書等については、その和訳及び説明文を添付してください。
- ⑥ 外国人登録済証明書は、在留資格及び在留期間を明記したものとします。
- ⑦ 提出書類等に虚偽の記載をした者は、入学の許可を取り消すことがあります。

### (4) 出願書類等提出先

〒958-0053 新潟県村上市上の山2番16号 新潟リハビリテーション大学 大学院 学務委員会

### (5) 外国人留学生の場合の出願

外国人で大学院において教育を受ける目的をもって入国し、本学への入学を志願する者があるときは、選考により外国人留学生として入学を許可します。外国人留学生の出願は、下記によるものとします。(詳細はお問い合わせください。)

- 1 出願資格を満たした上、日本語能力試験(独立行政法人日本学生支援機構実施)N1レベル取得又は日本留学試験(日本語)を受験していて、かつ授業料等の学納金納入の見通しがある者は出願することができます。
- 2 一般選抜要項に従って出願を行うこととし、入学は4月とします。

## 5. 選抜方法等

入学者の選抜は、小論文、面接及び出願書類により行います。

### 入学試験日

I期	平成27年	11月28日(土)
II期	平成28年	2月20日(土)
III期	平成28年	4月1日(金)

### 試験内容と時間

試験内容	時間
受付	10:00 ~ 10:20
小論文	10:35 ~ 11:35
面接	11:50 ~

\*小論文について、希望者には無料で過去問集を配布しています。

詳細は、新潟リハビリテーション大学 大学院 学務委員会までお問い合わせください。

\*面接の形式は個人面接(面接官複数×受験者1人)です。

### 試験会場

新潟リハビリテーション大学 大学院棟(E棟)

### 受験に際して注意する事柄

**受験票**：入学試験日までに受験票を郵送するので、試験日に必ず受験票を携帯してください。紛失または忘れた場合は、受付へ申し出てください。

万一、受験票が試験前日になっても届かない場合は、本学大学院学務委員会(TEL:(0254)56-8292)に問い合わせるとともに、試験日に入学検定料振込金受領書を持参してください。

**机上物**：小論文試験中、机上に置くことができるものは、受験票、黒鉛筆(シャープペンシルを含みます)、鉛筆削り(電動式を除きます)、消しゴム、時計(計時機能だけのものに限ります)、眼鏡、ハンカチ、ティッシュペーパーです。

**遅刻限度**：試験開始後20分経過した後は、試験室に入ることができません。ただしやむを得ない理由(災害や交通機関の乱れや事故等)の場合は、この限りではありません。

**面接会場への入室**：誘導があるまで入室することはできません。受験生控え室で待機してください。

**発病等**：試験の途中で身体に異常が生じた場合、その旨を監督者や面接者に告げ指示に従ってください。

**緊急時**：試験実施中に地震や火事等が発生した場合は、監督者や面接者の指示に従って適切な行動をとってください。

**途中退出**：試験時間中は、原則として途中退出は認めません。ただし、試験中身体に異常が生じたり、その他トイレ等については、その旨を監督者や面接者に告げ指示に従ってください。

**昼食**：昼食が必要な場合は持参し、各自、面接の待機時間もしくは面接終了後に受験生控え室で食べてください。それ以外の時間、場所での飲食は認めません。

**携帯電話の取り扱い**：携帯電話は試験開始前に電源を切り、カバンの中に入れてください(机の上や中、ポケットの中等、すぐに手が届く場所にしまうことはできません)。

**アラームや時報機能のついた時計の取り扱い**：アラームや時報機能のついた時計は試験開始前までにアラームや時報の設定を解除しておいてください。

\*インフルエンザや、その他の感染症にかかり治癒していない者は、他の受験者や監督者等に感染するおそれがあるため受験できません。申請により追試験を受験できる場合がありますので、本学 大学院 学務委員会まで事前(～試験開始前まで)に連絡してください。

TEL:(0254)56-8292 FAX:(0254)56-8291



## 試験の評価・合否判定方法

配点は小論文120点、面接120点、出願書類60点とし、合計300点満点です。評価は複数人で行います。総合得点が180点（得点率60%）以上の者を合格とします。ただし、小論文と面接のどちらか一方でも、評価者全員の判定がE（A～Eの5段階評価、A：特に優れている。B：優れている。C：普通。D：やや問題あり。E：問題あり。）だった場合は、得点率にかかわらず不合格とします。

## 6. 合格発表

### 合格発表日時

I 期	平成27年	12月 4日(金)	午前10時
II 期	平成28年	2月26日(金)	午前10時
III 期	平成28年	4月 1日(金)	午後 4時

- \* 合格者受験番号一覧を新潟リハビリテーション大学大学院ホームページおよび校舎前掲示により公開します。（合格発表専用のホームページアドレス、パスワード等は、入学試験当日の受付時にお知らせします。）
- \* 合格者全員に速達で合格通知を郵送します。（電話による合否の問い合わせへの対応は行いません。）
- \* 合格者には合格通知と共に入学手続書類（長期履修申請の予定の有無に関わらず同申請書も同封）を郵送します。
- \* 合格者のうち特待生に選考されたものは、特待生合格通知書も同封します。

## 7. 入学手続

### 入学手続(書類提出及び入学金納入) 締切

I 期	平成27年	12月11日(金)
II 期	平成28年	3月17日(木)
III 期	平成28年	4月 4日(月)

### 1 年次授業料納入 締切

平成28年	3月23日(水)
平成28年	3月23日(水)
平成28年	4月 4日(月)

- (1) 納入金額の詳細については、合格者に別途通知するので、それに従い納入してください。（特待生、長期履修学生等では、納入金額が異なるので注意してください。）
- (2) それぞれの期日の午後5時必着で書類を提出し、納入金を払い込んでください。
- (3) 入学手続期限までに手続きを完了しない者は、入学の意志がないものとみなします。
- (4) III期入試では、合格発表から入学手続締切までの期間が短くなっていますので注意してください。III期入試合格者で、入学の意志はあるが、やむを得ない事情により締切日までに入学手続が間に合わない場合はお問い合わせください。
- (5) 特別な事情により納入金の延納や分納を希望する場合はお問い合わせください。

## 8. 入学検定料及び授業料

### 入学検定料 30,000円

1. 本学所定の電信振込依頼書により銀行窓口で払込みをしてください。
2. 振込手数料は受験者本人の負担とします。
3. 依頼人氏名欄は、受験者本人の氏名を記入してください。
4. 取納印を押してもらってください。

\* 受験票・受験票学校控え・電信振込依頼書・振込金受領書に関する記入は記入例を参考にしてください。

授業料等（平成27年度年額（例）、平成28年度も同額の見込みです。）

	入学検定料	入学金	授業料	合計
1 年次	30,000円	100,000円	1,100,000円	1,230,000円
2 年次		—	1,100,000円	1,100,000円

- \* 授業料の納入方法の詳細については、合格者に別途通知します。
- \* 長期履修学生（後述 10. 長期履修制度概要 参照）については、授業料年額を別途定めます。
- \* 在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

## 9. 特待生制度概要

本学には、学業・人物ともに優れた入学試験成績上位者に対して、学費の一部免除の特典を与え、入学後の学業を奨励し学習意欲の高揚を図るとともに、リハビリテーション分野での有為な人材の育成に資することを目的とした「特待生」制度があります。

減 免 内 容	採用予定数
入学金の全額および各年度の授業料のうち100,000円を免除します。	6名程度（選考基準を充たした者）

免除された学費の返還義務は一切ありません。

申請方法：入学試験を受験した者は、すべて自動的に特待生の選考対象となります。

特待生選考基準：次のいずれかの条件を満たす者としします。

- ・各期（Ⅰ～Ⅲ期）の入学試験において、小論文・面接・書類選考点数の合計が、得点率において70%以上である者のうちから、得点の高い上位1～2位の者。
- ・本学医療学部を卒業した者あるいは卒業見込みの者で、医療学部在籍中4年間（卒業見込みの者にあつては、当該入学試験日までの期間）の通算GPAが3.0以上の者。

結果の通知方法：特待生として選出された者には、合格通知書とともに文書にて通知します。

特待生資格取り消しについて：成績が著しく低下した場合、または特待生としてふさわしくない行為があった場合は、その資格を取り消すことがあります。

※特待生かつ長期履修学生（後述 10. 長期履修制度概要 参照）の場合については、減免後の授業料総額を3年間で支払うものとしします。詳細については、お問い合わせください。

## 10. 長期履修制度概要

本学には、職業を有している等の事情により、定められた修業年限では大学院の教育課程の履修が困難な者に限り、標準修業年限2年間を超え、3年間で修学することを認める長期履修制度があります。新入生が入学前に本制度の適用を申請し、それが認められた場合、納入する授業料総額は2年間分をよく、2年間分の授業料を計画した履修年数3年で除した額を毎年納入することになります。ただし、在学中に授業料の改定が行われた場合は再計算されます。この制度は、新入生だけでなく、在籍中の学生が事情変更により条件を満たした場合は、途中（1年次の1月末日までに申請し、2年次の4月から）でも適用されます。長期履修を許可された者が、各年次の開始前（1月末日まで）に短縮を申請することも可能です。

新入生の場合は入学手続期間中に、在学学生の場合は1年次の1月末日までに、所定の手続きを行い審査を受けてください。審査後、すみやかに結果を通知しますので、新入生で長期履修の申請をした場合は、入学手続時の入学金以外の学納金は、審査結果の通知を受け取った後、締切日までに納入するようにしてください。

詳細については、お問い合わせください。

## 11. 独立行政法人日本学生支援機構における奨学金の貸与を希望する方へ

### (1) 大学院に入学する前の申込み（予約採用）

進学意欲を持つ優秀な学生が経済的な事情から進学を断念することがないように、大学院入学前であっても、日本学生支援機構の奨学金の予約採用を申し込むことができます。第一種奨学金（無利息）、第二種奨学金（利息付）及び併用貸与が対象となります。

申請締め切り等ありますので、申請予定者は、早めに本学事務局にお問い合わせください。

募集時期は、例年、入学前年度の6月・9月・11月頃です。

〒958-0053 新潟県村上市上の山2番16号 新潟リハビリテーション大学 事務局 大学院担当

TEL：(0254)56-8292 FAX：(0254)56-8291

### (2) 大学院に在学中の申込み（在学採用）

申込みは大学院を通じて行い、募集は原則として毎年春に行います。大学院入学後、早めに本学事務局にお問い合わせください。第一種奨学金（無利息）、第二種奨学金（利息付）及び併用貸与が対象となります。

### (3) 緊急採用・応急採用

主たる家計支持者の失職、破産、事故、病気、死亡等若しくは火災、風水害等の災害等により、家計が急変し、緊急に奨学金の必要が生じた場合は、随時申込みを受け付けています。本学事務局へ相談してください。

平成27年度 入学者の貸与月額

第一種奨学金	50,000円または88,000円
第二種奨学金	50,000円・80,000円・100,000円・130,000円・150,000円のいずれか

## 12. 試験会場までの交通機関

### (1) 試験会場

〒958-0053 新潟県村上市上の山2番16号  
新潟リハビリテーション大学 大学院棟 (E棟)  
TEL：(0254)56-8292 FAX：(0254)56-8291

### (2) 交通機関

電車・バス利用時

JR 羽越本線村上駅下車

・タクシーで約15分

・新潟交通 瀬波・岩船方面バスで

新潟リハビリテーション大学入口下車

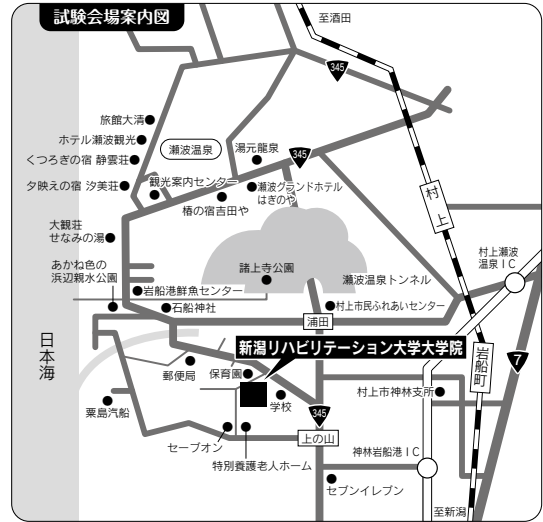
徒歩約1分

(バスは本数が少ないのでご注意ください。)

・本学スクールバス (土日を除く平日のみ運行。)

車利用時

日本海東北自動車道神林岩船港ICから約5分



## 13. 入学辞退

入学手続き完了者が、平成28年3月31日(木)までに入学辞退届を提出した場合は、入学金を除くすべての納入金を返還します。下記の提出書類を整えて郵送(書留)または持参にて提出してください。

郵送の場合は、平成28年3月31日(木)必着で発送してください。

持参の場合の受付は、原則として平成28年3月31日(木)午後5時までとします。入学手続き書類は返還しません。

入学辞退届の受理後、納入金の返還までに約1ヶ月かかりますのでご了承ください。

### 提出書類

1. 入学許可書
2. 入学辞退届(本人・保証人(父母等)連署捺印のうえ、辞退の意思と辞退理由を明記してください。また返還は、銀行振り込みで行いますので、銀行名・支店名・口座種別・口座番号・口座名義(フリガナ付記)を記入してください。上記内容が記載されていれば、様式は任意です。

### 提出先

〒958-0053 新潟県村上市上の山2番16号 新潟リハビリテーション大学 大学院 学務委員会

### ○入学者選抜に用いた個人情報の取り扱い

- (1) 出願に当たってお知らせいただいた氏名、住所その他の個人情報については、
  - ①入学者選抜(出願処理、選抜実施)
  - ②合格発表
  - ③入学手続
  - ④入学者選抜方法等における調査・研究、分析
  - ⑤これらに付随する業務を行うために利用します。
- (2) 入学者選抜に用いた試験成績の個人情報は、入学者選抜方法等における調査・研究、分析を行うために利用します。
- (3) 出願に当たってお知らせいただいた個人情報及び入試成績は、入学者のみ入学後の
  - ①教務関係(学籍、修学指導等)
  - ②学生支援関係(健康管理、奨学金申請等)
  - ③授業料等に関する業務を行うために利用します。

### ○健康状況の把握及び障害のある方への配慮

- (1) 入学志願者の健康状況については、原則として入学者選抜の判定資料としません。
- (2) 障害のある方が受験される場合において、入学試験時に特別措置等を希望される場合は、出願前に本学大学院学務委員会まで、ご相談ください。なお、特別措置として、以下のような配慮を行うことができます。

小論文試験に際して

- ①拡大文字による出題、拡大解答用紙の作成
- ②試験室座席指定の工夫
- ③試験時間の延長
- ④文書による注意事項の伝達
- ⑤その他

## ○被災受験者その他、経済的困窮者に対する特別措置について

東日本大震災、福島第一原子力発電所事故等により本人や家族が被災された受験者、また、その他の事由により家計が急変した受験者で、入学手続期間内に入学金や授業料の全部あるいは一部の納入が困難である場合は、随時、ご相談ください。延納や分納が可能です。

## II 研究生、科目等履修生、特別聴講学生選抜(村上本校キャンパス生)

- 一般選抜による大学院生の他に、村上本校キャンパスで学修する研究生、科目等履修生、特別聴講学生も下記により募集を行います。選考により随時入学することができます。
- 大学院正規学生開講科目のうち、修士論文作成のための研究指導等を除く講義科目の履修や聴講が可能です。詳しくはお問い合わせください。

### (1) 研究生

特定の専門事項を研究するため研究生を希望する者は、本学の教育研究に支障のない範囲において選考により、研究生として入学を許可します。

#### (入学資格)

研究生として入学することのできる者は、大学院修士課程を修了した者またはこれと同等以上の学力があると学長が認めた者で、次の各号のいずれかに該当する者とします。

- (1) 修士の学位を有する者あるいは出願時において一か月以内に修士の学位を得る見込みの者
- (2) 外国において修士の学位に相当する学位を授与された者
- (3) 本大学院において、個別の審査により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者

#### (出願に係る書類及び提出期限)

研究生となることを志願する者は、前もって入学後の研究指導予定教員と打ち合わせ了承を得た上で、原則として入学月の前月10日までに、研究生願(所定様式)および次の各号に掲げる書類を、本学事務局宛、提出してください。

- (1) 検定料振込金受領書(本人控え)のコピー
- (2) 最終出身学校発行の卒業(見込)証明書もしくは修了(見込)証明書
- (3) 教育・研究歴、実務経験等調書(所定様式)
- (4) 履歴書(所定様式)
- (5) 研究生用研究計画書(所定様式)(研究指導予定教員の承諾印が押印されたもの)
- (6) 返信用封筒(角形2号封筒(定形外)に住所、氏名、郵便番号を明記し、郵便切手140円分を貼ったもの)

#### (選考及び合否決定)

研究生の選考は、研究指導予定教員による書類審査及び面接によるものとします。合否の結果は文書で通知します。

#### (入学手続及び入学許可)

合格の通知を受け研究生として入学を希望するものは、登録料及び研究料を納付し、かつ誓約書を提出してください。

#### (研究期間等)

研究期間は入学を許可された年度において1年以内とします。ただし通算2年の範囲内で許可を得て、この期間を延長することができます。

#### (授業の聴講)

研究生は研究指導教員および授業担当教員の承認を得て、当該研究に関連のある授業を聴講することができます。聴講を希望する場合には、当該授業開始1週間前までに、研究生聴講願(所定様式)を提出してください。研究生は授業を聴講しても単位を修得することはできません。(単位を修得しようとするときは併せて科目等履修生として入学してください。)

#### (研究の修了)

研究を終えた際、あるいは研究期間の満了の際には、研究成果の概要を記載した研究修了(期間満了)届(所定様式)を、提出してもらいます。研究修了者に対しては、本人の請求により、研究証明書を交付します。

#### (検定料・登録料・研究料)

検定料等は下記に定めます。(電信扱振込依頼書に振込金額を記載して銀行窓口で払込みをしてください。)

	金 額
検 定 料	10,000円
登 録 料	20,000円
研 究 料	月額25,000円

### (2) 科目等履修生

特定の授業科目を履修するため、科目等履修生を希望する者は、本学の教育研究に支障のない範囲において、選考により科目等履修生として入学を許可します。科目等履修生として入学することのできる者は、当該特定の授業科目を履修するのに十分な学力があると学長が認めた者とします。科目等履修生は単位を修得することが可能です。

#### (出願に係る書類及び提出期限)

科目等履修生となることを希望する者は、原則として入学月の前月10日までに、科目等履修生願(所定様式)および次の各号に掲げる書類を、本学事務局宛、提出してください。なお入学は当該科目の開講開始月とします。

- (1) 検定料振込金受領書（本人控え）のコピー
- (2) 教育・研究歴、実務経験等調書（所定様式）
- (3) 履歴書（所定様式）
- (4) 返信用封筒（角形2号封筒（定形外）に志願者の住所、氏名、郵便番号を明記し、郵便切手140円分を貼ったもの）

**(選考及び可否決定)**

科目等履修生の選考は、書類審査によるものとします。可否の結果は文書をもって通知します。

**(履修手続及び履修許可)**

合格の通知を受け科目等履修生となることを希望するものは、登録料及び科目等履修料を納付してください。

科目の履修、試験、評価等は本学が定める「授業科目の履修方法、試験・評価規程」に従って行います。

**(検定料・登録料・科目等履修料)**

検定料等は下記に定めます。（電信扱振込依頼書に振込金額を記載して銀行窓口で払込みをしてください。）

	金 額
検 定 料	10,000円
登 録 料	20,000円
科 目 等 履 修 料	1 単位につき15,000円

注：同一年度に複数の科目を履修する場合も、検定料、登録料の支払いは一回のみとなります。

しかし同一科目であっても、今年度、次年度というふうに複数年にわたって履修する場合は、年度ごとに検定料、登録料が必要になります。

**(科目等履修生のうち本専攻に入学する場合の優遇措置)**

科目等履修生として履修したのち、5年以内に本専攻へ入学する場合は、修得した単位を最大10単位まで、履修済み単位として移行することができます。その場合、科目等履修生として支払った検定料、登録料および科目等履修生として単位修得した科目の履修料は、本専攻の授業料から減免します。

**(学校法人北都健勝学園公開セミナー受講時の単位)**

学校法人北都健勝学園公開セミナー受講申し込み時に科目等履修生の手続きを併せて行い試験に合格すると、単位を修得することができます。

**(大学院正規授業科目の部分聴講)**

大学院正規授業科目の一部のみを聴講することも可能です。その場合は単位を修得することはできません。詳細については、本学事務局にお問い合わせください。

### (3) 特別聴講学生

他の大学院の学生で、本学の特定の授業科目を履修するため特別聴講学生を希望する者は、他の大学院との協議に基づき、選考により特別聴講学生として入学を許可します。特別聴講学生は単位を修得することが可能です。

**(出願に係る書類及び提出期限)**

特別聴講学生となることを希望する者は、原則として入学月の前月10日までに、特別聴講願（所定様式）および次の各号に掲げる書類を、本学事務局宛、提出してください。なお入学は当該科目の開講開始月とします。

- (1) 検定料振込金受領書（本人控え）のコピー
- (2) 在籍大学院発行の特別聴講許可証（任意様式）
- (3) 教育・研究歴、実務経験等調書（所定様式）
- (4) 履歴書（所定様式）
- (5) 返信用封筒（角形2号封筒（定形外）に志願者の住所、氏名、郵便番号を明記し、郵便切手140円分を貼ったもの）

**(選考及び可否決定)**

特別聴講学生の選考は、書類審査及び面接によるものとします。可否の結果は文書をもって通知します。

**(聴講手続及び聴講許可)**

合格の通知を受け特別聴講学生となることを希望するものは、登録料及び聴講料を納付してください。

科目の履修、試験、評価等は本学が定める「授業科目の履修方法、試験・評価規程」に従って行います。

**(検定料・登録料・聴講料)**

検定料等は下記に定めます。（電信扱振込依頼書に振込金額を記載して銀行窓口で払込みをしてください。）

	金 額
検 定 料	2,000円
登 録 料	2,000円
聴 講 料	1 単位につき15,000円

### Ⅲ 大学院専任教員および客員教員 (平成27年6月1日現在)

#### 3コース共通

教員名 連絡メールアドレス	役職・職位	学位 国家資格	教育研究内容・専門領域
まとほ みちこ 的場已知子 (授業科目のみ担当、 研究指導は行いません。)	理事長 准教授	学士(医学) 医師	○精神病理学、芸術療法 ○慢性疼痛の臨床研究 ○スポーツ医学におけるメンタルリハビリテーション
おおさわ げんご 大澤 源吾 osawa@nur.ac.jp	教授	医学博士 医師	○摂食・嚥下障害並びに言語障害の病態と治療に関する 歴史的・文献的考察および国際的比較検討 ○内科学 ○腎臓病学
かとう とよひろ 加藤 豊広	客員准教授	博士(医学) 修士(健康科学) はり師・きゅう師 あん摩マッサージ指圧師	○統合医療 ○衛生学 ○鍼灸・手技療法における実験医学的研究 ○健康科学 ○社会医学

#### 摂食・嚥下障害コース

教員名 連絡メールアドレス	役職・職位	学位 国家資格	教育研究内容・専門領域
やまむら ちえ 山村 千絵 yamamura@nur.ac.jp	学 長 研究科長 摂食・嚥下障害コース長 大学院学務委員長 教 授	博士(歯学) 歯科医師	○摂食嚥下に関する基礎生理学 ○嚥下調整食についての基礎的研究 ○高齢者が食べやすい食材の開発 ○口腔生理学 ○基礎歯科学
くらち まさこ 倉智 雅子 kurachi@nur.ac.jp	副学長 教 授	Ph.D. (米国) 言語聴覚士	○嚥下の生理と神経機構 ○成人の摂食嚥下障害の評価 ○成人の摂食嚥下障害に対する治療・訓練
みやおか さとみ 宮岡 里美 miyaoka@nur.ac.jp	教授	博士(歯学) 言語聴覚士	○摂食・嚥下機能障害 ○口腔機能向上による介護予防 ○食の心理 ○安全に美味しく楽しく食べるためのケアとリハビリ テーション
のだ ただし 野田 忠	客員教授	歯学博士 歯科医師	○咀嚼・嚥下の発達に関する研究 ○口腔領域の発育に関する研究 ○小児歯科学

## 高次脳機能障害コース

教員名 連絡メールアドレス	役職・職位	学位 国家資格	教育研究内容・専門領域
いばやし かつひこ 伊林 克彦 ibayashi@nur.ac.jp	高次脳機能障害コース長 教授	医学博士 言語聴覚士	<ul style="list-style-type: none"> <li>○認知症に関する基礎的研究</li> <li>○認知症患者に対する治療法の研究</li> <li>○高次脳機能障害学</li> <li>○失語症学</li> </ul>
たかはし くにお 高橋 邦丕 k.takahashi@nur.ac.jp	教授	医学博士 医師	<ul style="list-style-type: none"> <li>○高次脳機能障害（注意障害、無視、病態失認、ペイスィング障害）の相互関係について</li> <li>○無関心・無配慮症候群の研究</li> <li>○認知症スクリーニング法の開発（脳波周波数パターン分析NATを用いて）</li> </ul>
どうせき けいこ 道関 京子	客員教授	修士（文学） 言語聴覚士	<ul style="list-style-type: none"> <li>○失語症・自閉症・吃音のリハビリテーション体系の開発</li> <li>○高次脳機能障害を身体図式を中心に研究</li> <li>○認知症・高齢者のコミュニケーション</li> <li>○神経心理学</li> </ul>

## 運動機能科学コース

教員名 連絡メールアドレス	役職・職位	学位 国家資格	教育研究内容・専門領域
たかはし ひろし 高橋 洋 hiroshit@nur.ac.jp	運動機能科学コース長 教授	修士（体育学） 理学療法士	<ul style="list-style-type: none"> <li>○バランスに関する研究</li> <li>○痛みに対する理学療法</li> <li>○地域理学療法学</li> <li>○運動器疾患理学療法学</li> </ul>
くりはらと よこ 栗原トヨ子 kurihara@nur.ac.jp	副学長 教授	博士（医学） 作業療法士	<ul style="list-style-type: none"> <li>○高齢障害者の作業活動と生きがいの関連について</li> <li>○作業活動の意味とその効果に関する評価方法</li> </ul>
おしきり えこ 押木利英子 oshiki@nur.ac.jp	副学長 教授	博士（医学） 理学療法士	<ul style="list-style-type: none"> <li>○運動発達に関する研究</li> <li>○脳性麻痺、ダウン症に関する研究</li> <li>○中枢神経系疾患に関する臨床研究</li> <li>○小児理学療法学</li> </ul>
あさみ いわお 浅海 岩生 asami@nur.ac.jp	医療学部長 教授	博士（医学） 修士（学術） 理学療法士	<ul style="list-style-type: none"> <li>○運動と感覚の基礎研究</li> <li>○反応時間測定に関する研究</li> <li>○物理療法学</li> <li>○基礎理学療法学</li> </ul>

## IV 科目履修について

### <教育課程の編成方針(カリキュラム・ポリシー)>

本大学院が目指しているものは、生命の根源となる摂食・嚥下機能の分野と、人間のもっとも高度な機能である高次脳機能の分野、および人が生きるために必須な運動・動作・活動の分野において、困難を抱えている患者さんやご家族に対して援助ができる有能な医療従事者、および教育・研究者を育成することであり、この目的を達成するために、以下の教育カリキュラムを編成しています。

具体的には、教育課程を共通科目と専門科目の2段階に分け、その多くを1年次に履修させます。1～2年次には学習した知識をもとに修士論文作成のための研究指導を行います。

- ①共通科目では、人間尊重の精神を基礎とした医療関連科目の教育を行い、専門科目を学ぶための基礎を養います。
- ②専門科目では身体的、精神的に困難を抱える弱者、および彼らを取り巻く家族や地域社会を理解し、適切な援助が行える医療従事者あるいは教育・研究者を育成するために必要な科目を履修させます。この専門科目では、より深い専門性を学ばせるために、コースに分かれて学習させますが、一方で、より広い視野にたてるように、学生が選択したコース以外のコースから科目を選択して学習することもできます。
- ③研究指導では、修士論文作成に向けて、文献検索、論文作成計画、データ処理、論文の著述等の指導を、指導教員を中心として行います。

○教育課程は、共通科目と専門科目に分かれます。

1年次前期は主に3コース共通の教育を行い、1年次後期から本格的なコース別の教育が開始されます。

○ 共通科目、専門科目の履修について

\* 通常履修生（標準修業年限2年）の場合

1年次前期（3コース共通）

共通科目→必修科目（4単位）及び選択科目を学びます。

専門科目→摂食・嚥下障害学総論、高次脳機能障害学総論Ⅰ、運動機能科学総論については、どのコースも必修です。

1年次後期（コース別）

各コースに分かれて専門科目（必修科目及び選択科目）のみの履修となります。

2年次前期（コース別）

各コースに分かれて専門科目（必修科目及び選択科目）のみの履修となります。

2年次後期（コース別）

科目履修はありません。

\* 長期履修生の場合

各自の長期履修計画書に基づいて、3年間で計画的に履修します。

○上記の科目履修の他に研究指導（1～2年次）を受け、修士論文研究の実施及び修士論文の作成が必要です。

## V 修了要件と学位授与

### <学位授与に関する方針(ディプロマ・ポリシー)>

本大学院で以下のような能力を身に付け、かつ修了要件を満たした学生は、修了が認定され、修士（リハビリテーション医療学）の学位が授与されます。

1. 共通科目の履修を通して、リハビリテーション医療に対する理解を深めるために、専門領域を超えて深く問題を探求する姿勢。
2. 各コースにおける体系的な学修を通して、摂食・嚥下障害、高次脳機能障害や、運動機能科学に関する多様な課題を発見分析し、自ら解決する能力。
3. 修士論文研究を通して、高度な知識の活用能力、批判的・論理的思考力、表現能力、プレゼンテーション能力等を総合する力。

### <修了要件>

1. 研究科に2年以上在学すること。
2. 必修単位（摂食・嚥下障害コースと高次脳機能障害コースで20単位、運動機能科学コースで22単位。ただし、研究指導による4単位を含めない。）を含む30単位以上を修得すること。
3. 提出期限までに修士論文を提出し、修士論文の審査（論文審査、発表審査）および最終試験に合格すること。
4. 所定の学費等を納めていること。



## VI 授業科目 (平成28年度開講予定科目)

	授業科目の名称	配当年次	必修		選択		
			前期	後期	前期	後期	
共通科目	リハビリテーション医学総論Ⅰ(内科・神経内科)	1前	1				
	リハビリテーション医学総論Ⅱ(外科・整形外科)	1前	1				
	医療倫理	1前	1				
	研究方法論	1前	1				
	精神医学	1前			1		
	公衆衛生学総論	1前			1		
	神経解剖学	1前			1		
	臨床解剖学	1前			1		
	神経心理学	1前			1		
	リハビリテーション臨床学	1前			1		
	看護・介護論	1前			1		
	リスク管理学	1前			1		
	職場管理学	1前			1		
	教授法	1前			1		
	小計			4	0	10	0
				4		10	

	授業科目の名称	配当年次	摂食・嚥下障害コース				高次脳機能障害コース				運動機能科学コース			
			必修		選択		必修		選択		必修		選択	
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
専門科目	摂食・嚥下障害学総論	1前	2				2				2			
	口腔咽喉頭機能学	1前	1											
	摂食・嚥下障害評価学	1後		2										
	小児～成人期摂食・嚥下障害学	1後		2						2				
	摂食・嚥下訓練・治療法(基礎)	1後		1						1			1	
	摂食・嚥下訓練・治療法(臨床)	1後		1						1				
	口腔介護	1後		1						1				
	摂食・嚥下食品・栄養学	2前	1						1					
	摂食・嚥下障害ケーススタディ・研究方法論	2前	2											
	研究指導	1～2	④											
	高次脳機能障害学総論Ⅰ(基礎)	1前	1			1				1				
	高次脳機能障害学総論Ⅱ(応用)	1前	1			1						1		
	発達神経心理学	1前			1	1								
	高次脳機能障害評価学Ⅰ(コンピュータ評価技法)	1後								1			1	
	高次脳機能障害評価学Ⅱ(画像・脳波)	2前				1								
	高次脳機能障害評価学Ⅲ(神経心理)	2前				1								
	前頭葉機能・右半球障害	1前			1	1							1	
	注意・記憶・行為・遂行機能障害	1後				1		1						1
	視覚機能障害	1後				1		1						
	発達障害	1後				1		1						
	失語・失読・失書	1後				1		1						1
	認知科学・認知機能障害	2前			1	1								1
	高次脳機能障害ケーススタディ・研究方法論	2前				2								
	研究指導	1～2				④								
	運動機能科学総論	1前	1			1				1				
	地域・老年期リハビリテーション論	1後				2				2		2		
	運動障害病態学	1後										1		
	内部障害特論	1後										1		
	運動機能障害特論(運動器・スポーツ障害)	1後										1		
	生活機能障害作業療法学	1後								1		1		
生活環境科学(住環境・ADL)	1後				1						1			
物理療法学特論	1後												1	
精神・認知機能障害作業療法学	1後								1				1	
作業活動分析学	1後/2前										1			
中枢神経疾患治療技法	1後/2前								1		1			
動作測定技法Ⅰ	1後/2前				1						1			
動作測定技法Ⅱ	1後/2前										1			
徒手医学特論	1後/2前												1	
生活支援デバイス論(補装具など)	2前				1						1			
機能障害ケーススタディ・研究方法論	2前										2			
研究指導	1～2										④			
小計			9	7	3	9	12	4	1	11	7	11	3	7
			16		12		16		12		18		10	

- 医療倫理はe-learning形式となります。
- 一部の科目ではWeb授業形式となります。

# 新潟リハビリテーション大学 大学院リハビリテーション研究科 (修士課程) 入学願書

受験番号	※
------	---

フリガナ			
氏名	男 ・ 女		
生年月日 (年齢)	年 月 日 (満 歳) 平成28年4月1日現在		
国籍			
本人の住所 (入試に関する確実な 連絡先を記入)	〒 - TEL ( )		
本人以外の入試に 関する連絡先 (家族等)	氏名	続柄	
	〒 - TEL ( )		
国家資格	①理学療法士 ②作業療法士 ③言語聴覚士 ④その他 ( )		
専攻分野	リハビリテーション医療学専攻		
希望コース	①摂食・嚥下障害コース ②高次脳機能障害コース ③運動機能科学コース ④未定		
最終学歴	出身大学		
	年 月 日 卒業(修了) ・ 卒業(修了) 見込み		
	大学以外		
年 月 日 卒業(修了) ・ 卒業(修了) 見込み			
学位・称号を授与された機関の名称及び取得年月日			
年 月 日 取得 ・ 取得見込み			
現職 (ある者のみ)	名称	所在地	
	職種	年 月 日 入社	

写真添付  
(3cm×2.5cm)

1.正面上半身・脱帽  
2.撮影3ヶ月以内の写真  
※受験票と同一のもの

## 記入上の注意

- 黒又は青のボールペンを用いて楷書で正確に記入してください。
- 住所欄は、通知・照会等を受取ることができる場所を記入してください。
- ※印欄は記入しないでください。
- 国家資格、希望コースの欄は該当するものを○で囲んでください。複数の国家資格を持つ者は、そのすべてに○をつけてください。その他の国家資格の場合は ( ) 内に資格名を記載してください。また、いずれの国家資格も有しない者(理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等の資格取得見込みの者も含む)は、保有する国家試験受験資格名を ( ) 内に記入してください。

[II]

振込金受領書

依頼日	平成 年 月 日
振込先	第四銀行 岩船支店
金額	
手数料	
受取人	学校法人 北都健勝学園
受験者名	

- この受領書をもって入学検定料の領収書とします。この票は各自で保管してください。
- 受験票が届かない場合は試験当日この受領書を持参して受付へ提出してください。



[I]

電信扱振込依頼書

依頼日	平成 年 月 日	振込指定	電信扱	
振込先銀行名	第四銀行 岩船支店	勘定科目		
受取人	預金種目	普通	手数料	
	口座番号	1113769	金額	
	フリガナ	ガッコウホウジンホクトケンショウガクエン	内訳	
	口座名	学校法人 北都健勝学園		現金
	住所	新潟県村上市上の山2番16号		当手
氏名		他手		
依頼人(受験者本人)	フリガナ			
	住所			
	(TEL - - )			

取扱銀行切り離し



取扱銀行へお願い

- ①②③に正確に収納印を押印の上、本票以外を依頼人へ返却してください。
- 振込手数料は本人負担です。
- 太線内を打電してください。

取扱銀行切り離し

[IV]

速達

郵便はがき

□	□	□	□	□	□	□
---	---	---	---	---	---	---

ここに  
332円分の  
切手を貼付  
して下さい

\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

様

切り離し無効

[III]

平成28年度 受験票大学控え  
新潟リハビリテーション大学大学院

受験番号	※記入しないでください。
フリガナ	
氏名	
試験日	H 年 月 日

写真添付  
(3cm×2.5cm)

- 正面上半身・脱帽
  - 撮影3ヶ月以内の写真
- ※入学願書と同一のもの

学校法人 北都健勝学園  
新潟リハビリテーション大学大学院

受験票

受験番号	※記入しないでください
------	-------------



# 電信扱振込依頼書の記入例

〔記入方法〕 下記の手順に従い、記入してください。

## 【Ⅰ】 電信扱振込依頼書

- ①振込み日を記入してください。
- ②金額（検定料）を記入してください。  
一般選抜受験者：30,000円  
研究生希望者：10,000円  
科目等履修生希望者：10,000円  
特別聴講学生希望者：2,000円
- ③氏名を漢字で記入してください。
- ④太枠に氏名のフリガナを記入してください。
- ⑤受験者本人の住所、電話番号を記入してください。

## 【Ⅱ】 振込金受領書（本人控）

- ⑥振込日を記入してください。
- ⑦金額（検定料）を記入してください。  
一般選抜受験者：30,000円  
研究生希望者：10,000円  
科目等履修生希望者：10,000円  
特別聴講学生希望者：2,000円
- ⑧受験者の氏名を記入してください。  
※一般選抜受験者は試験前日になっても受験票が届かない場合は本学大学院学務委員会へ連絡し、試験当日はこの受領書を持参してください。  
※研究生希望者、科目等履修生希望者、特別聴講学生希望者は写しを指定の書類と合わせて提出してください。

## 【Ⅲ】 受験票大学控え

- （一般選抜受験者のみ提出してください）
- ⑨氏名、試験日を記入してください。
  - ⑩入学願書と同じ写真を貼付してください。

## 【Ⅳ】 受験票

- （一般選抜受験者のみ提出してください）
- ⑪332円分の切手を貼付してください。
  - ⑫受験者の住所・氏名を記入してください。

◆全てを切り離さずに金融機関へ持参し、入学検定料を振込んでください。  
その際、取納印①～③に押印してもらってください。出願時はⅠ・Ⅱを切り離し、Ⅲ・Ⅳを提出してください。

## 記入例

**【Ⅱ】 振込金受領書**

依頼日	平成27年11月6日
振込先	第四銀行 岩船支店
金額	7
手数料	
受取人	学校法人 北部健康学園
受験者氏名	村上 太郎

1) この受領書をもって入学検定料の領収書とします。この票は各自で保管してください。  
2) 受験票が届かない場合は試験当日この受領書を持参して受付へ提出してください。

取扱金融機関 取納印 2

**【Ⅰ】 電信扱振込依頼書**

依頼日	平成27年11月6日	振込指定	電信扱
振込先銀行名	第四銀行 岩船支店	勘定科目	
預金種目	普通	手数料	
口座番号	1113769	金額	2
フリガナ	ガッコウホウジンホクトケンシヨウガクエン	現金	
口座名	学校法人 北部健康学園	内当手	
住所	新潟県村上市上の山2番16号	他手	
氏名	村上 太郎	取扱金融機関 取納印 1	
フリガナ	ムラカミ タロウ		
〒	958-0053	照合・送付指示 処理 受付	
住所	新潟県村上市上の山2-16		
(TEL)	0254-56-8292		

取扱銀行へお願い  
1) ①②③に正確に取納印を押印の上、本票以外を依頼人へ返却してください。  
2) 振込手数料は本人負担です。  
3) 本線を打電してください。

取扱銀行切り離し

---

**【Ⅳ】 郵便はがき**

ここに332円分の切手を貼付して下さい

958-0053

新潟県村上市上の山 2-16

村上 太郎 様

学校法人 北部健康学園  
新潟リハビリテーション大学大学院

受験票

※記入しないでください

取扱金融機関 取納印 3

**【Ⅲ】 平成28年度 受験票大学控え**  
新潟リハビリテーション大学大学院

※記入しないでください。

受験番号	
フリガナ	ムラカミ タロウ
氏名	村上 太郎
試験日	日 27年11月28日

写真添付 (3cm×2.5cm)

1. 正面1/2身・脱帽  
2. 撮影3ヶ月以内の写真  
※入学願書と同一のもの

取扱金融機関 取納印 9

# 履 歴 書

受験番号

※

フリガナ			
氏 名			男 ・ 女
生年月日(年齢)	年 月 日 (満 歳)	平成28年4月1日現在	
国 籍			
本人の住所 (入試に関する確実な 連絡先を記入)	〒 -	TEL	( )
学 歴 (高等学校 入学以降)			
年 月			
年 月			
年 月			
年 月			
年 月			
年 月			
年 月			
職 歴			
年 月			
年 月			
年 月			
年 月			
年 月			
年 月			
賞 罰			
年 月			
年 月			
現在所属している学会及び社会における活動等			
資 格 及 び 免 許 等			

写 真 添 付  
(3 cm × 2.5 cm)

1. 正面上半身・脱帽
  2. 撮影3ヶ月以内の写真
- ※受験票と同一のもの

# 推薦書

平成 年 月 日

新潟リハビリテーション大学 学長 殿

所属機関名

関連部局名

役職名

氏名

公印

電話番号

次の者の新潟リハビリテーション大学大学院リハビリテーション研究科の  
受験を推薦致します。

記

志願者氏名

部署名(在職年数)

( 年)

推薦理由

# 受験承諾書

平成 年 月 日

新潟リハビリテーション大学 学長 殿

所属機関所在地

所属機関名

代表者氏名

印

下記の者が、新潟リハビリテーション大学大学院リハビリテーション研究科を受験することを承諾します。

記

氏名 \_\_\_\_\_

生年月日 \_\_\_\_\_ 年 月 日

現住所 \_\_\_\_\_





職 歴

年 月 日

年 月 日

年 月 日

年 月 日

年 月 日

年 月 日

年 月 日

年 月 日

年 月 日

年 月 日

年 月 日

年 月 日

年 月 日

年 月 日

年 月 日

年 月 日

年 月 日

年 月 日

年 月 日

年 月 日

年 月 日

年 月 日

審査結果通知先

〒

TEL ( )

FAX ( )

(注)

1. ペン又はボールペンを使用し、楷書で記入してください。
2. 国家資格、希望コースについては、該当するものに○をつけてください。複数の国家資格を持つ者は、そのすべてに○をつけてください。その他の国家資格の場合は、( )内に資格名を記載してください。また、いずれの国家資格も有しない者(理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等の資格取得見込みの者も含む)は、保有する国家試験受験資格名を( )内に記入してください。
3. 学歴は高等学校入学から記入してください。ただし、外国人留学生は小学校入学から記入してください。
4. 入学後、履歴中に虚偽の記載事項が発見された場合には、入学を取り消すことがあります。

# 教育・研究歴、実務経験等調書

フリガナ			
氏名		生年月日	年 月 日生(満 歳) 平成28年4月1日現在
住所	〒 -		
	TEL ( )		

教育上の能力に関する事項 (教育歴のある者のみ記載のこと)		
事項	年月日	概要
教育方法の実践例		
教育の経験を有する者についての特記事項		

## 職務上の実績に関する事項

(該当する者のみ記載のこと)

事 項	年月日	概 要
実務の経験を有する者についての特記事項 (リハビリテーション医療の専門分野で実務 経験のある者のみ記載のこと)		

## 研究業績等に関する事項

(研究歴のある者のみ記載のこと)

著書, 学術論文等の名称	単著・ 共著の別	発行又は 発表の年月	発行所, 発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要 (各200文字程度)

# 大学院 研究生願

リハビリテーション研究科

平成 年 月 日

新潟リハビリテーション大学 学長 殿

現住所

氏 名

年 月 日生

私は、大学院リハビリテーション研究科の研究生として下記の研究指導教員のもとで研究したいので、許可して下さるようお願いします。

## 記

研 究 科 名	リハビリテーション研究科	リハビリテーション医療学専攻
分野(コース)	摂食・嚥下障害コース	高次脳機能障害コース 運動機能科学コース
研究指導教員		先生
研 究 テーマ		
研 究 期 間	年 月 ~	年 月

## 添付書類

- 「振込金受領書（本人控え）写し」  
\* 電信振込依頼書により10,000円を銀行窓口で払込みをする  
\* 受験票大学控え及び受験票は添付不要
- 最終出身学校発行の卒業（見込）証明書もしくは修了（見込）証明書
- 「教育・研究歴、実務経験等調書」（所定の用紙）
- 「履歴書」（所定の用紙）
- 「研究計画書」（所定の用紙）
- その他選考上必要とするもの
- 「返信用封筒」（角形2号封筒（定形外）に出願者宛先を明記し、切手140円分を貼付）

## ※大学記入欄

授業料等学納金納入

未（ 月 日までに） ・ 済



# 大学院 科目等履修生願

リハビリテーション研究科

平成 年 月 日

新潟リハビリテーション大学 学長 殿

現住所

氏 名

年 月 日生

私は、大学院リハビリテーション研究科の下記の科目を履修したいので、許可して下さるようお願いします。

## 記

科 目	担当教員	単 位	期 間
			前期 後期
			前期 後期
			前期 後期
			前期 後期
			前期 後期
			前期 後期

## 添付書類

- 「振込金受領書（本人控え）写し」  
\* 電信振込依頼書により10,000円を銀行窓口で払込みをする  
\* 受験票大学控え及び受験票は添付不要
- 「教育・研究歴、実務経験等調書」（所定の用紙）
- 「履歴書」（所定の用紙）
- 「返信用封筒」（角形2号封筒（定形外）に出願者宛先を明記し、切手140円分を貼付）

※大学記入欄

授業料等学納金納入

未（ 月 日までに）

・ 済

# 大学院 特別聴講願

リハビリテーション研究科

平成 年 月 日

新潟リハビリテーション大学 学長 殿

現住所

氏 名

年 月 日生

私は、大学院リハビリテーション研究科の下記の科目を聴講したいので特別聴講学生として許可して下さるようお願いいたします。

## 記

科 目	担当教員	単 位	期 間
			前期 後期
			前期 後期
			前期 後期
			前期 後期
			前期 後期
			前期 後期

## 添付書類

- 「振込金受領書（本人控え）写し」  
\* 電信振込依頼書により2,000円を銀行窓口で払込みをする  
\* 受験票大学控え及び受験票は添付不要
- 在籍大学院発行の特別聴講許可証（任意様式）
- 「教育・研究歴、実務経験等調書」（所定の用紙）
- 「履歴書」（所定の用紙）
- 「返信用封筒」（角形2号封筒（定形外）に出願者宛先を明記し、切手140円分を貼付）

## ※大学記入欄

授業料等学納金納入

未（ 月 日までに）

・ 済



学校法人 北都健勝学園



Niigata University of Rehabilitation

新潟リハビリテーション大学

〒 958-0053 新潟県村上市上の山2番 16号

TEL (0254)56-8292 FAX (0254)56-8291

URL <http://www.nur.ac.jp> E-mail [nyuushi@nur.ac.jp](mailto:nyuushi@nur.ac.jp)